

平成30年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	安全・安心で快適なまち
基本方針	災害に強いまち
基本施策名	防災体制の充実

	所属	職名	氏名
作成者	建設課	課長	山浦 慎司
評価者	都市建設部	部長	西沢 剛

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	防災施設の整備について、本市は高低差のある地形で複合扇状地に集落を形成していることから、台風や異常気象によって災害が発生しやすい状況にあり、災害に備えるために水防資・機材を水防倉庫に保管し管理しています。
基本方針 (目指すべき方向性)	防災・減災対策を充実させるとともに、市民の防災意識を高め、地域が主体となって防災活動に取り組むまちを目指します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H28	H29	H30	達成率	進捗状況	所管課
防災訓練参加者数	人	9,294	12,000			8,143	67.9	順調	危機管理課

施策指標の進捗状況と分析	
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況					重点化	
				H28	H29	H30	H31	R 2	合計	事業区分	新/継	終期	方向性		正規職員数
1	0108360	水防倉庫施設管理事業	維持担当	977,829	797,961	1,120,827			2,896,617	施設の管理運営	継続	期限なし	事業効果を高めるための方策を検討	0.2	
2	0108362	水防倉庫改修事業	維持担当			4,093,200	30,039,000		34,132,200	ハード(新規)	新規		現状のまま実施することが適当	0.43	
合計				977,829	797,961	5,214,027	30,039,000		37,028,817						

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	災害発生時の水防資・機材の確保は重要課題であり、引き続き取り組みが必要となります。
重点化事務事業の考え方	
縮減・廃止事務事業の考え方	現在ある水防倉庫を統廃合し効率的な運用を図るため、老朽化が激しかった貝梅2水防倉庫(築58年経過)を平成30年度に解体しました。 また、令和元年度に水防倉庫改修事業として、上原建設課倉庫(築41年経過)の解体・新築を行います。 併せて、水防資・機材の管理を適正に行います。
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出含)	市民アンケート結果では、「地震や台風などへの備えができていないことが今後重要である」との設問に対する現状の評価が高いことから、官民一体となった防災対策の一環として、日ごろからの災害資・機材の確保が必要になります。 また、災害発生時に水防資・機材を完備していることが必要なことから、水防倉庫備蓄資材の更新が必要です。

平成30年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	安全・安心で快適なまち
基本方針	災害に強いまち
基本施策名	治山・治水事業の推進

	所属	職名	氏名
作成者	建設課	課長	山浦 慎司
評価者	都市建設部	部長	西沢 剛

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	治水対策の充実として、本市は松本盆地のすべての水が集まる複合扇状地となっていることから、準用河川、普通河川について市民が安全に安心して暮らせるよう、河川改修及び維持を行う必要があります。
基本方針 (目指すべき方向性)	危険個所のパトロールと解消に努めるとともに、自然環境に配慮した治山・治水対策に取り組み、災害に強いまちづくりを進めます。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H28	H29	H30	達成率	進捗状況	所管課
土砂災害危険個所存在区における避難体制づくりの取組率	%	12.0	48.5			37.5	37.5	順調	監理課

施策指標の進捗状況と分析	
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位:円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費						事務事業の状況					重点化
				H28	H29	H30	H31	R 2	合計	事業区分	新/継	終期	方向性	正規職員数	
1	0108330	河川改修事業	建設担当	8,348,400	10,108,800	6,860,160	7,350,000	7,350,000	40,017,360	ハード(継続)	継続	期限なし	現状のまま実施することが適切	1	
2	0108340	河川維持事業	維持担当	8,533,132	8,546,399	11,301,676	8,390,000	8,395,000	45,166,207	ハード(継続)	継続	期限なし	現状のまま実施することが適切	0.3	
合計				16,881,532	18,655,199	18,161,836	15,740,000	15,745,000	85,183,567						

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	平成30年度は、河川内の堆積土砂排除や河床整備、準用河川川窪沢川の河畔林整備を河川維持工事で実施し、河川改修を大井戸川外1箇所を河川改修事業で実施しました。 河川を整備することで、集中豪雨や台風による河川の氾濫を防ぎ、周辺環境と調和した治水事業を進めます。
重点化事務事業の考え方	
縮減・廃止事務事業の考え方	河川改修・維持事業とも、治水の安全を確保する必要があることから、継続した取り組みが必要となります。
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出)	事業実施については、選択と集中による計画的な取り組みが必要となります。

平成30年度 基本施策評価シート（部別）

基本目標	安全・安心で快適なまち
基本方針	事件・事故を防ぐまち
基本施策名	防犯・交通安全の推進

	所属	職名	氏名
作成者	建設課	課長	山浦 慎司
評価者	都市建設部	部長	西沢 剛

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	交通安全施設整備については、年々増加に転じている交通事故の抑制を図る一環として、「安曇野市交通安全計画」に基づき道路交通環境を改善し、交通事故の防止と交通の円滑化を図るため、効果的かつ効率的に交通安全施設の整備に推進しています。 しかしながら、市民アンケート結果では、「交通安全の取り組みが行われている」との設問に対する現状の評価がほぼ平均値であることから、引き続き交通安全施設整備事業に取り組む必要があります。
基本方針 (目指すべき方向性)	防犯や交通安全に対して、一人ひとりが当事者意識を持ち、地域ぐるみの活動が展開される安全・安心なまちを目指します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H28	H29	H30	達成率	進捗状況	所管課
市内の交通事故（人身事故）発生件数の増減率	%		-1.1			-2.3		順調	地域づくり課
市内の刑法犯認知件数	件(暦年)	469	378			350		順調	地域づくり課

施策指標の進捗状況と分析	
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費						事務事業の状況					重点化
				H28	H29	H30	H31	R 2	合計	事業区分	新/継	終期	方向性	正規職員数	
1	0108280	交通安全施設整備事業	維持担当	29,830,939	29,785,641	29,056,644	28,500,000	28,500,000	145,673,224	ハード(継続)	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.24	○
合計				29,830,939	29,785,641	29,056,644	28,500,000	28,500,000	145,673,224						

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	少子高齢化等の社会情勢の変化に対応し、子どもを交通事故から守り、高齢者や障がい者が安全にかつ安心して外出できる交通社会を形成する観点から、引き続き交通安全施設整備への取り組みが必要です。
重点化事務事業の考え方	交通安全施設整備については、平成27年度に策定した「市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中で、交通安全・防犯体制の強化が具体施策として位置付けられています。 また、道路反射鏡や道路標識・道路標示の整備等を、区やPTAからの要望に対し緊急性や必要性に応じた効果的な整備を進めていることから、重点化事務事業として位置付けます。
縮減・廃止事務事業の考え方	
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出含)	交通安全施設整備については、「市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中で、交通安全・防犯体制の強化が具体施策として位置付けられていることから、一層の取り組みが必要となります。 なお、課題としては、事業実施にあたり限られた予算を効果的に執行する必要があります。

平成30年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	安全・安心で快適なまち
基本方針	利便性の高いまち
基本施策名	道路整備の推進

	所属	職名	氏名
作成者	建設課	課長	山浦 慎司
評価者	都市建設部	部長	西沢 剛

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	本市では、「安曇野市道路整備推進計画」「舗装維持管理計画」「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、幹線道路の整備及び橋梁の修繕をしています。また、生活道路については、各区からの改良要望を受けて事業を進めています。 しかしながら、第2次総合計画の現状を示すデータを見ると、道路整備に関する市民の評価が低いことから、より一層の取り組みが必要となっています。
基本方針 (目指すべき方向性)	長期的視点から、道路や橋の整備と老朽化対策を行い、利便性や安全性が確保された道路環境を目指します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H28	H29	H30	達成率	進捗状況	所管課
市道舗装率	%		75.6	77.5		76.2	74.3	順調	建設課
歩道整備率 (改良済5.5m以上)	%		70.5	72.7		69.4	67.6	順調	建設課

施策指標の進捗状況と分析	
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位:円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況					重点化		
				H28	H29	H30	H31	R 2	合計	事業区分	新/継	終期	方向性		正規職員数	
1	0108060	道路維持作業車整備事業	維持担当	8,945,054	2,376,285	2,625,944				13,947,283	施設の管理運営	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.1	
2	0108120	道路橋梁維持事業	維持担当	257,568,366	341,822,697	332,143,045	309,605,000	309,605,000	1,550,744,108	ハード(継続)	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	4.81	○	
3	0108150	除雪融雪事業	維持担当	112,320,137	108,766,036	95,129,041	106,486,000	106,486,000	529,187,214	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	1.3	○	
4	0108220	市道新設改良事業(市単独)	建設担当	371,169,867	378,677,314	345,955,145	340,000,000	340,000,000	1,775,802,326	ハード(継続)	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	5	○	
5	0108230	市道新設改良事業(合併特例債)	建設担当	24,619,911	46,478,760	65,099,228	152,000,000	152,000,000	440,197,899	ハード(継続)	継続	令和6以降	現状のまま事業を実施することが適当	2	○	
6	0108240	市道新設改良事業(交付金)	建設担当	132,962,763	97,658,063	147,387,690	290,000,000	283,000,000	951,008,516	ハード(継続)	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	3	○	
7	0108250	道路橋梁修繕事業(交付金)	維持担当	117,849,600	141,677,600	136,159,200	173,900,000	170,800,000	740,386,400	ハード(継続)	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	2.29	○	
合計				1,025,435,698	1,117,456,755	1,124,499,293	1,371,991,000	1,361,891,000	6,001,273,746							

事務事業量とコスト(費用対効果)の分析	社会資本整備総合交付金を活用した事業については、「道路整備推進計画」や「舗装維持管理計画」及び「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、また生活道路の整備については、各区からの要望に対し、緊急性、必要性、利便性の向上や事業効果を総合的に勘案し、事業を計画的に進めることで継続して取り組みます。
重点化事務事業の考え方	道路の整備については、平成27年度に策定した「市まち・ひと・しごと創生総合戦略」で利便性の高いまちの実現として位置付けているため、幹線道路の整備、生活道路の整備等に関連する事業を重点化事務事業に位置付けます。
縮減・廃止事務事業の考え方	
総合評価(次年度へ向けた課題の抽出)	道路の整備については、大きく分けて道路幅員など改築系の事業と、道路・橋梁の修繕といった維持・補修系の事業、そして歩道を設置し歩行者の利便性を図る公安系の事業に分類されます。それぞれの事業が「市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置付けられていることから、一層の取り組みが必要となります。 また、社会資本整備総合交付金事業以外には、地元要望を受けて実施する事業があり、今後の課題として、事業効果や必要性を判断する選択基準や指標により、計画的に事業を実施する必要があります。